



お元気ですか!

志村 たかよし です

第634号 2013年3月24日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

自民、公明、みんな、民主

「国民健康保険料」値上げに賛成

10年度の保険料は6万4千円
だったけど、来年度は
8万6千円。3年前と比べて
2万2千円も増えるんですって。



年金200万円
夫婦2人世帯の場合

88年から毎年繰り返される国民健康保険料の値上げのため、高すぎる保険料を払えない滞納世帯は、中央区でも増え続け、10年度は加入世帯の33・4%、3分の1にも達しています。

全国では滞納世帯が436万世帯、全加入世帯の2割を超えています。中央区の滞納世帯数は全国レベルから見ても異常です。

毎年続く国民健康保険料の値上げあげ…。3月7日の中央区議会福祉保健委員会で、値上げ案にたいし、日本共産党以外の委員が賛成し可決されました。

10年度の保険料は16万8千円でした。来年度は、29万8千円になるとは…。3年間で13万円もの値上げは困ります。



給与300万円。
夫婦と子ども2人の
4人世帯の場合

急増する保険料が払えない世帯

国民健康保険に加入している無職の方は、80年代半ばまでは2割強でしたが、最近では6割近くまでに急増しています。

国保加入世帯の平均所得は減る一方なのに、保険料は2倍近くになっています。そのため、保険料を払えない人や社会保険のない非正規雇用

や失業などで、国保加入が必要なのに申請をしない、したくてもできない無保険者になる人も増えています。

年金生活者や失業者も加入する国保は、もともと適切は国庫負担なしには成り立たない制度です。

ところが、国の社会保障予算を抑制するために国保の国庫負担を削減し、「国保世帯の貧困化」が深刻になった後もそれをもとに戻しませんでした。このことにより、保険料の高騰に歯止めがからなくなっています。

国保は、憲法25条に基づく社会保障の制度であり、負担能力に応じて保険料を納入するという社会保障の考えに立てば、値上げはやめるべきです。負担能力を超える高すぎる国保料でますます滞納が増え、さらに国保財政が悪化し、またまた保険料の値上げへという「悪循環」に落ち込んでしまいます。

国は責任をもって国保制度を支えるべきです。

「いじめ問題シンポジウム」に参加



200人を超える参加者であふれた会場

3月16日、全労連会館で開かれた日本共産党中央委員会主催の「いじめ問題シンポジウム」に参加しました。「深刻化するいじめ問題を解決するために、いま何が必要か…」をテーマに、5人のパネラーの発言や参加者の意見や質問も紹介され、中身の濃い3時間でした。

壇上には多彩な5人のパネリストが並びました。

日本共産党いじめ問題対策チーム責任者の山下芳生書記局長代行（参院議員）、いじめのない社会をめざし活動するNPO法人ジェントルハートプロジェクト理事の小森美登里さん、小・中学校教師を31年経験した北海

道教育大学教職大学院教授の福井雅英さん、若者の気持ちを代弁した民青同盟千葉県委員会副委員長の前宮城みどりさん、大阪の元中学校教員で豊中市小中学校生徒指導担当者会会長を務め、いじめや暴力問題に取り組んだ池田和幸さんです。司会は宮本岳志衆院議員でした。

シンポジウムでは、参加者からの意見も踏まえ、「目の前の子どもをどう救うのか」などを討論しました。

福井さんは「子どもの苦悩に気づく教員のセンスは一人では磨けない。同僚との学び合いの保障を」と問題提起しました。

全国の学校で講演する小森さんは「保健室の先生を増やして」など子どもの声に触れ、「子ど

もたちに強くなれというのは筋違い」と話しました。会場がどよめいたのは、山下さんが紹介した自民党のいじめ法案です。

山下さんは「いじめ禁止、道徳教育の強化、厳罰主義など『子ども抑えつけ』法案では解決できない」とのべ、子どもの権利を守る法制化や政治の役割を強調しました。

宮城さんは「厳罰化は子どもを追い詰めるだけ」「子どもがかけてほしいのは『何か嫌なことがあった?』という言葉です」



左から福井、宮崎、池田の各氏



左から山下、小森、福井の各氏。

と訴えました。池田さんは塾のチラシも示し、子どもや親が「競争に追われている」実態を紹介しました。

最後に山下さんは「みなさんから寄せられた意見を正面から受け止め、生かしていきたい。多くの人と集まり、討論することがいま本当に必要ではないか」と語りました。

様々な立場からの意見を聞くことができ、たいへん有意義なシンポジウムでした。

「意見、要望など、お気軽に」連絡ください(03-6360-0900)